

# 子育て応援してみませんか 家庭教育応援隊養成講座

近年、核家族化により身近な人から子育てを学ぶ機会の減少や、都市化による地域とのつながりの変化など、家庭教育を支える環境が大きく変化し、「家庭教育が困難な社会」であるとも言われます。

青森県総合社会教育センターでは、地域全体で家庭教育を支援する体制を整備するため、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成する事業の一環として「家庭教育応援隊養成講座」を開催しています。本講座を規定回数受講し修了した方は、「あおもり家庭教育アドバイザー」として申請登録することができます。

今年度は、上北地区と下北地区を対象に、6月から12月まで月1回のペースで、計7回ずつの講義・演習を行ってきました。

学ぶ内容は、主に「家庭教育支援」、「あおもり親楽プログラム」、「子育てサロン」の3つです。

「家庭教育支援」では、主として講義形式で「家庭教育の支援者としての役割や心構え」、「傾聴について」、「気になる子どもの理解と対応」等を学びます。

「あおもり親楽プログラム」は、青森県教育委員会作成の学習プログラム集です。「あおもり家庭教育アドバイザー」が、よくあるエピソードを題材としたこのプログラムをもとに、親が親自身の役割やあり方等を考えるための講座を進行できるようになっています。受講者はプログラムの受講体験とともに、運営者としての模擬体験もしながら、講座運営の仕方を学びます。



実践「子育てサロン」の様子から



講義・演習の様子から

「子育てサロン」では、その社会的意義や運営する上での心構えを学び、実際にサロンを計画・運営します。そこには、本物(!)の親子が集まるのですから、運営側の緊張感たるや並大抵ではありません。これまでの学んだことを活かし、親子に楽しい時間を提供する実践を通じて更に深い学びとなります。

修了者には、「あおもり家庭教育アドバイザー」として、各地域であおもり親楽プログラムを使った研修会等の進行役をしたり、子育てサロンを運営したりと、様々な形での家庭教育支援の実践が期待されています。

本講座における詳細については、当センターホームページ「終了事業アーカイブ」内で紹介していますので、是非御覧下さい。また、平成30年度は東青・三八地区で開催し、令和2年度は、西北地区・中南地区で本講座を行う予定です。

アーカイブはこちら》》》



最終回受講の皆さんで、記念写真をパチリ。  
(左 上北会場、右 下北会場)